



木曽岬町津波ハザードマップ

この津波ハザードマップは、三重県が平成24年3月に発表した「東北地方太平洋沖地震と同規模の地震を想定した場合の津波浸水予測図（東海・東南海・南海地震同時発生M9.0を想定）」をもとに作成しています。予測図の前提条件については次のとおりです。

- ・東海・東南海・南海地震が同時に発生した場合（国・中央防災会議（平成15年）の想定震源域をもとに、地震の規模をM9.0とした場合）
- ・一年で最も潮位が高くなる時期（中秋の名月頃）の満潮時の場合
- ・海岸や河川の堤防をすべてないものとした場合
- ・地震に伴う地殻変動（地盤が0.6～0.8m沈降する）を考慮した場合

なお、想定を上回る規模の地震や津波が発生する可能性もありますので、浸水予測区域（着色された区域）に隣接する地域にも浸水被害が及ぶ可能性もあります。

指定避難所（災害時に住む場所が居住不能になった場合の一時的滞在施設）

番号	名称	避難地区	収容人員
①	加路戸集会所	新加路戸、上加路戸	101人
②	町立北部公民館	中加路戸、大新田、外平喜	179人
③	農村集落多目的共同利用施設	上見入、東見入、辰高	213人
④	町立中部幼稚園・保育園	下見入、上和泉	388人
⑤	町立福祉・教育センター	西対海地、小林	219人
⑥	ふるさと創生ホール	小和泉	154人
⑦	町立小学校	福崎、西白鷺川、栄、第二栄	1,071人
⑧	町体育館	近江島、田代、脇付、雁ヶ地	786人
⑨	町立中学校（津波避難センター）	下和泉、富田子、中和泉、かおるヶ丘、中栄、第二富田子、第三富田子	1,293人
⑩	町立東部公民館	南栄、新富田子、東富田子	172人
⑪	町立南部幼稚園・保育園	豊崎、川先、白鷺、源緑、下藤里、上藤里、松永、藤里台、なぎさ台	330人

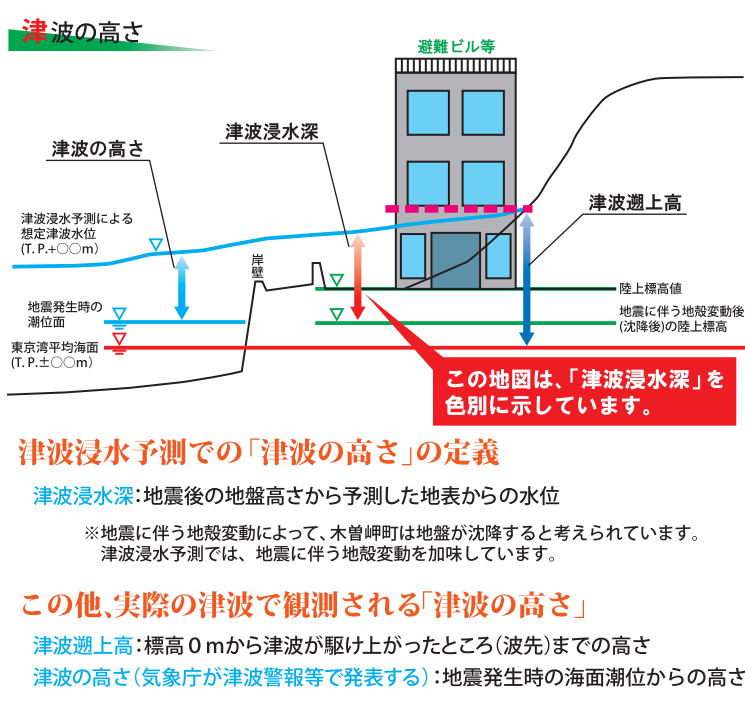
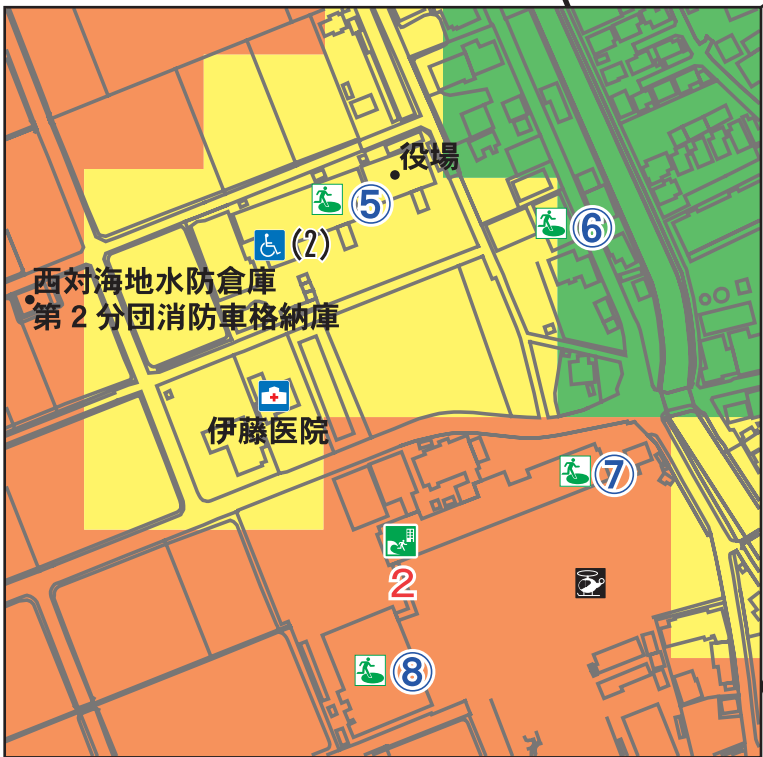
一時避難所（津波発生時に一時的に退避する場所）

番号	名称	収容人員
1	福德商事㈱	810人
2	木曽岬小学校	950人
3	中部畳材㈱	150人
4	木曽岬中学校（津波避難センター）	850人
5	石田鉄工㈱	730人
6	㈱マルアイ木曽岬工場	400人
7	浅井工業㈱	300人

福祉避難所（介助が必要な高齢者や障害者らに配慮した避難所）

番号	名称
(1)	輪心乃里
(2)	町立福祉・教育センター

拡大図



浸水深	深さの目安
4～8 m	二階が水没する深さ。木造建物の多くが流される。
3～4 m	木造建物が津波に流され始める。
2～3 m	一階軒下の高さ。木造建物が全壊する恐れがある。
1～2 m	津波に巻き込まれると危険。木造建物が半壊する恐れがある。
0.5～1 m	胸までつかる深さ。避難が困難になる。
0～0.5m	腰までつかる深さ。水深がひざを超えると自由が奪われる。

凡 例

- 指定避難所
- 一時避難所
- 福祉避難所
- 医療機関
- 臨時ヘリポート

1:12,000

